

効率化めざす精神も引き継ぐ

集落内で第三者継承

熊谷市の高橋さん、井田さんから

【埼玉】熊谷市の高橋秀征さん（52）は、井田文雄さん（76）から第三者継承し、米麦10畝とネギ20畝を栽培している。高橋さんは元タレント企業に勤めていたが、生涯

の仕事とするのは農業と考え、義父の家で農作業を手伝い始めた。

一方、井田さんは同じ集落の米麦農家。農機具の自作をはじめ、農作業にさまざまな工夫を加

え、効率性の高い農業を実現していた。後継者を探していた井田さんは、県から第三者経営継承を勧められたところだった。

二人の出会いは、井田さんが高橋さんに声をかけたのがきっかけ。井田さんは高橋さんを研修生として迎え入れ、2年間一緒に農作業した後、今年1月に第三者継承した。今回の継承では農地や機械だけでなく、技術や販路、さらには井田さんが培ってきた効率化の精神も引き継がれた。

井田さんは「栽培や私の経営に理解を示してくれたので、高橋さんなら安心して自分の経営を任せられると思った」という。高橋さんは「地域に溶け込めるか心配だったが、井田さんが入りやすい環境を作ってくれたことが本当にありがたかった」と話す。

今後について高橋さん

は「今年1年やってみて軌道に乗ったら、規模拡大やより効率の良い農業経営をめざしていきたい」と話した。



井田さん（左）と高橋さん